



# 枝垂れ柳

寒河江市立寒河江小学校

令和6年 9月 6日

学校教育目標【ともに学び ともに輝き ともに高まる子ども】

## 夏休み明けの全校集会から

夏休みが終わり、8月21日（水）からは、学校に元気な笑顔の子どもたちが戻ってきています。今年の夏休みもたいへん暑い日が続きましたが、大きな事故やけがなどもなく、一人一人の子どもがそれぞれにすてきな夏休みを過ごすことができたようです。

このことは、自分のくらしを創る力、まさに「自ら考え、判断・行動する力」が着実に付いてきていることの表れであり、保護者の皆様のご家庭でのご協力や地域の方々の見守りなどの支えのおかげだと思えます。本当にありがとうございます。今後とも学校・家庭・地域それぞれの場や役割りを大事にしながら、子どもたちの成長と一緒に支えていきましょう。

さて、8月27日（火）には、夏休み明けの全校集会を、暑さもかなり厳しかったために、オンラインで各教室をつないで行いました。

まずは、子どもたちの大会・コンクールなどの表彰や学校以外の様々な活動での活躍の様子を紹介してもらいました。改めて、子どもたちの可能性を感じ、様々なことに積極的にチャレンジしている姿をうれしく思いました。（※裏面に掲載しています。）

なお、すでにご存知かもしれませんが、8月1日には市制70周年記念事業「私たちが住みたい30年後の寒河江の姿」を考えるパネルディスカッションに、学校代表として6年生の鹿間梨花（しかま りんか）さんが参加し、作文を発表しました。

また、8月5日に県庁で「子ども知事室」が開かれ、県内の5・6年生190人の応募の中から5年生の五十嵐萌果（いがらし もか）さんが選ばれ、「一日知事」の辞令を受け、今後力を入れてほしい施策などをテーマに、吉村知事と意見を交わしたそうです。

さらに、8月6日・7日には、市内の小中学生が英語で過ごすイベント「イングリッシュ・デイ」が、旧幸生小学校で開かれました。本校からは15名の5・6年生が参加し、校舎内で英語を使いながら宝探しなどの活動を楽しみました。

次に、8月26日（金）から、本校で教育実習を行っている3名の大学3年生（東北文教大2名・東北福祉大1名）が自己紹介を行いました。今年度は1年1組に須藤真優さん、2年1組に川村奏羽さん、6年1組に片桐未来さんが配属となり、担任などの指導を受けながら、観察実習を行ったり、学級事務実習を行ったりしています。そして、3～4週目には実際に授業を行ったり、授業研究を行ったりなどもします。小学校の教員志願者が減っている中ですので、これからの教育に関わるたいへん貴重な人材です。子どもとともに成長し、教職により魅力を感じることができるよう教育実習になるように取り組んでいます。

最後に、校長から夏休み中に行われたパリオリンピックを話題に、「パリオリンピックをテレビやニュースなどで見ましたか?」、「パリオリンピックで、一番気になった選手は?」と問いかけました。その後、私が気になった4名の金メダリストを紹介し、明日からはパリオリンピックが始まることを伝えました。子どもたちと一緒に、様々な人に学ぶことやスポーツのすばらしさに気づくことをねらいに行いました。